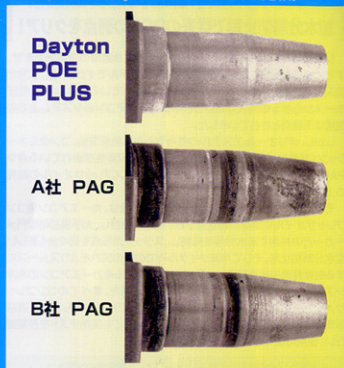


●コンプレッサクランクシャフトにおける耐摩耗性テスト
(PAGとDayton POE PLUSの比較)



●斜板型5シリンダテスト—連続500時間

コンプレッサ部品	局部	金属分類	デイトン POE PLUS & R-134a	変性PAG (添加剤配合済) & R-134a	鉱物油 & R-12
総合評価 (満点80)	—	—	74.2	74.6	60.6
シャフト	フロント側	鉄	5	4.7	4.7
	リヤ側	鉄	5	4.7	4.7
ベアリング	フロント側	鉄	4.7	5	4
	リヤ側	鉄	4.7	4.7	4
ワッシャー	フロント側	鉄	4.3	4.7	4
	リヤ側	鉄	4.7	5	4.3
シリンダー	フロント側	アルミ/フッ素樹脂	3.3	3.7	2
	リヤ側	アルミ/フッ素樹脂	3.7	2.7	2
ピストン	シールリング	フッ素樹脂/アルミ	4.7	4.7	3
	シューボケット	アルミ/鉄	5	5	4.3
ピストン 接触部	—	アルミ	5	5	5
	—	アルミ	5	5	5
ピストン 斜板接触部	—	アルミ	4.7	5	3
	—	アルミ	4.7	5	3
斜板シュー	フロント側	鉄/アルミ	5	5	3.3
	リヤ側	鉄/アルミ	5	5	3.7
シュー	外側	鉄/アルミ	4.7	5	4.3
	裏平面	鉄/アルミ	4.7	4.7	4.3

●デイトンPOEプラスの使用法および注意事項●

- ※基本的に各メーカーの純正オイルと同じ基準(油量etc.)でお使い下さい。
- ※冷媒漏れ検知用の蛍光剤を併用する場合は適切なものを選び、最過油量を守ってお使い下さい。
- ※アンモニア冷媒との併用は避けて下さい。相溶性はありません。
- ※ゴミ、水分が混入しないように、使用後はしっかりとフタを閉めて下さい。給油口は常にきれいにして下さい。直射日光を避け、換気の良い暗い所へ保管して下さい。

- 製造元：米国サーテックインターナショナル社
- 日本総輸入販売元：株式会社イワサキコーポレーション
神戸市中央区磯辺通4-2-8 TEL.078-222-2591(代)
<http://www.iwasakicorporation.jp>

販売店



Dayton POE PLUS™

100% SYNTHETIC POE COMPRESSOR OIL

R-12,R-134a兼用

業務用 カーエアコン用コンプレッサオイル
デイトン ピー・オー・イー プラス



(パッケージ)
・1リットル×6本入/ケース
・20リットル缶(特注)

Ultimate Compressor Oil
R-12, R-134a
カーエアコンコンプレッサオイル

デイトンPOEプラスとは？

デイトンPOEプラスとは、旧型車に採用されている冷媒R-12、新型車に採用されている冷媒R-134aの両冷媒だけでなく、R-12対応の鉱油系コンプレッサ油およびR-134a対応の合成系PAG油（ポリアルキレングリコール系）のオイルにも相溶性をもつ、新しいタイプのカーエアコン用コンプレッサオイルです。そのため、従来のように複数のオイル在庫を必要とせず、この1本で効率的な作業環境、経済的な在庫管理が出来ます。

（主な特性）

- 冷媒R-12、冷媒R-134aの両冷媒に相溶性があります。
- O-リング、ゴムホース、プラスチックなどの有機材や人体（皮膚）にもやさしい。
- コンプレッサの異音を静め、長持ちさせる効果が期待できる。
- スクルー、ロータリー（ペーン型、スクロール型）、レシプロなどの各コンプレッサの構造にも適応できるシングル粘度設定。
- コンタミネーション（異種の油が混ざりあった状態）下の化学安定性に優れている。
- 他社製オイルの残油と混ぜても白濁したり、二層分離しない。
- 広範囲（約-60℃～100℃）において各冷媒との相性が安定。コンプレッサへの油の戻りもスムーズ。
- R-12仕様のコンプレッサにR-134aを充填して使用するレトロフィットオイルとしても最適。
- 冷媒R-12やR-134a以外にも、R-22、R-502や混合冷媒R-407C、R-410A、R-404Aなどにも相溶性があるので、バスエアコン、建設機械用エアコン、冷凍車、保冷車、産業用冷蔵庫用のコンプレッサ油としてもご利用になれます。

（注意）

デイトンPOEプラスは、CFC、HFC、HCFCのいずれかで構成される冷媒には相溶性がありますが、アンモニア冷媒には相溶性がないため使用出来ません。

わずかな交換部品とデイトンPOEプラスさえあれば、“レトロフィット”でビジネスチャンスが広がる！

レトロフィットとは？

レトロフィット（Retrofit）とは、主としてフロンガスの回収を促進する環境対策の一貫として、市場に出回っているR-12仕様の旧型カーエアコンシステムのコンプレッサを最小限の部品交換だけで、R-134a仕様の新型システムに置き換えるという、アメリカ生まれの革新的なコンプレッサの修理（改善）方法を意味します。

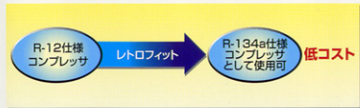
デイトンPOEプラスはレトロフィットで最大の威力を発揮する

現在、R-12仕様のカーエアコンをご利用のお客様には、その旧型エアコンをレトロフィットすれば、環境にやさしい冷媒R-134a仕様のカーエアコンに変更できることをアピールできます。特にデイトンPOEプラスを使用してレトロフィット作業を行えば、コンプレッサ内部のR-12用の鉱油系コンプレッサオイルの残油と混ぜても化学反応を起すような心配もなく、完全に溶け込んでしまいます。だから、コンプレッサ内部の洗浄が必要ない分だけ作業効率も上がり、低価格でお客様にR-134a仕様のカーエアコンへの転換をお勧め頂けます。ちなみに、通常コンプレッサの交換（新品への交換）には数十万円の費用が掛かります。

通常の乗せ換え作業だど…



デイトンPOEプラスを使うと…

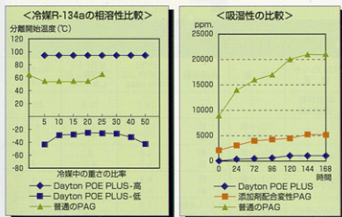


化学合成ポリオールエステル油（略してPOE）をベースオイルに採用、新開発の耐摩耗添加剤、加水分解防止剤で従来のPOEの弱点をクリア！

ジェット機のエンジンオイルから家庭用電気冷蔵庫の冷凍機油まで、すでに幅広く利用されているポリオールエステルですが、一旦、水分が混入すると加水分解を起こしやすい特性をもっているため、以前は低圧ホースから水分の混入が避けられないカーエアコンのシステム上での使用は不適当とされてきました。

しかし、ポリオールエステルの長所でもある熱安定性、コンタミネーション（異種の油が混ざった状態）下での化学安定性が優れている点やPAG油よりも吸湿性が低い本来の性質は、コンプレッサオイルの開発の上では無視できません。

そこで、米国サーテックインターナショナル社は、カーエアコン用コンプレッサオイルに国際共通規格がないことに注目し、大手添加剤専門メーカーとの共同で加水分解を抑制し、スラッジの形成を防ぐ全く新しい加水分解防止剤、そして冷凍サイクル内での油の流れをよりスムーズにする耐摩耗添加剤を開発し、ポリオールエステルをカーエアコンの冷凍システムでも使用可能なものとなりました。また、すべてのコンプレッサメーカーのコンプレッサを使用し、米国本土でももちろん、気温、道路事情、交通事情など環境が異なる諸外国においても実用テストを長期間行い、使用可能であることを確認しています。



デイトンPOEプラスとの相性（一例）

Elastomers (ゴム)	適合	Plastics (プラスチック)	適合
HNBR (水素ニトリルゴム)	○	Fluorocarbon (フルオロカーボン)	○
Niprene (ネオプレン)	○	Nylon (ナイロン)	○
Butyl Rubber (ブチルゴム)	○	EPDM (エチレンプロピレンゴム)	○
EPDM (エチレンプロピレンゴム)	○	Polyetheral (ポリエーテル)	○
Fluorosilicone (フルオロシリコン)	○	Polyester (ポリエステル)	○
Poly sulfide (ポリサルファイド)	○		
Silicone (シリコン)	○		